



〈研究〉災後の一周年に際して

石川, 文吾

(Citation)

経済學商業學國民經濟雜誌, 37(4):592-606

(Issue Date)

1924-10

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053691>



災後の一周年に際して

石 川 文 吾

一

思ひ出づるも恐しき大震災から早く一年の歳月を經過し我も人も何れ復興の問題を前途に横へて今奮闘しつつあるのである。彼の大震災及び夫れに次げる大火災の惹起せる損害は幾度千萬言を陳ぬるも尙且つ悉すべからざる恨事ではあつたが、平生は碌に言語を交ゆる機會もなく甚しきに至つては相會するも識らざる程疎遠であつた近隣の人々が彼の災禍に踵で必要を生じたる自警團の隊員となり、貴さも賤さも隣保相濟の精神を以て長い秋の夜を火の番小屋に語り明かしたる結果市郡を通じて住民の間に自治の念團結の精神が擡頭して來たは誠に喜ぶべきである。東京を中心とする關東一帯の地の商業者も亦舉つて奮起一番捲土重來せねば止まぬ貴重なる刺激を受けて活動して居る様であるが彼等の間にも亦災餘一般人士の間に悟られた様な團結協力の必要が大に認められて居るであらうか。彼の當時或慷慨家は災厄を以て天譴となせし世人の氣分が餘りに放縱浮華に走つて居たのを懲罰する爲めに天が下したる處刑である云ふた事は或一部の社會に就て見れば或は當つて居るかも知れないが、吾人は吾國の商業者の從來の營業振が斯る天罰を値へする程に油斷勝ちな又は惡辣なものであつたとは信じ得ぬのである。震災以前にあつても吾國の進歩的な商業者は個々

としては着實なる方法に依つて着々其の事業の發展、位置の向上の爲めに努力しつゝあつたのである。只一部保守的な商人中には尙此時勢に醒めず依然舊式の營業振を續けて居た者もあつた。中には進歩的經營の必要を悟つて居つても時既に晚く今から一工夫して見た處で同業者が餘りに先に進んで居つて追従の不可能なる事を念ふて其儘にして居つたものもあつた。然るに過般の天變は從來退嬰保守を事として居つた商人にも大に發奮せねばならぬ事を自覺せしめたるは勿論、既に多少進歩の道程に上つて居つた商業者の店舗を破潰し凡ての施設を焼失し折角永年訓練養成した使用人をも四散せしめたのであつて、是等の人々には甚だ氣の毒ではあつたが從來立ち後れて居つた人々は玆に新に先頭に立つて居つた人々と同一條件で競争場裡に送り出された譯であつて、新規蒔直しに全く何のハンデキャプもなく新しき商戦に入るのであつて彼等には甚有利であつた。爾來一星霜草創的の復興事業は略成り眞劍味ある奮闘時期は今將に來らんとして居る、今は災餘の商人に取り誠に奮ふべき秋である。然り今は誠に彼等の奮起すべき秋であるが此の裏面には今こそ迂濶なる商人が落伍すべき秋である事が意味されて居るのである。ホンの近頃始めた新店でも努力に依つて老舗を凌いで大に發展し得るのも今であるが何十年何百年の古い暖廉を以て誇として居つた店でも努力が足りなければ劣敗者となるのも亦今である。吾人は此意味に於て災餘一年の今日を重要視し今後同業者が第一には獨立して同業者並に他の階級から加へらるゝ過激なる競争の壓迫に堪へ進んでは他を凌駕するの意氣を養ふと共に第二には聰明なる協力團結に依り其勢力を一層鞏固にせねばならぬと信する。

特に吾人が力説して吾商人に希望する事は寧ろ第一よりも第二の點である。獨立自ら守るの念と團結協力の念とは一見水火氷炭と同じく相融和し得ざるものゝ様であつて其の何れか一方に發達する者は必ず他方に缺けねばならぬかの如くに信ずる者もあるが、事實は此の兩者は最も善く融和し并存し得るものであつて同時に又融和并存せしむる必要の甚大なるものである。眞に強い團結は獨立し得る實力ある個人の團結に限るのである。獨立の意氣獨り熾烈であつて提携協力の利を悟らぬ者は排他となり孤立となり鬭争に日を消して然も得る處は失ふ處を償ひ得ぬのであり、個人として善く獨立し得ざる者は如何に巧に團結しても砂上の樓閣で、試練到る毎に將某倒しに崩潰すべきである。而して元來日本人は個人としては歐米人に比して何等遜色なきに拘らず團結力の乏しき爲め常に彼等に一籌を輸するのであるとは吾人の屢々聞知し來つた事であつて、此復興の急に際しても銀行業者間には預金の爭奪戰あり、商工業者は互に得意先を爭ひ熟練なる使用人を爭ひ神戸と横濱とが生絲輸出の爭覇戰に屈托し其他資本家は勞働者に對し使用人は傭主に對し貧者は富者に對し縦斷的に横斷的に大小幾多の鬭牆事件はあるが目立つ様な團結協力の起らぬに失望するのである。

二

獨立心と團結心とは共に大に必要であるが團結心の發達せぬ國民は文化の道程に於て後れたるものとして利害の打算以外に耻辱を感じねばならぬ。獨立不羈の念は凡ての動物に共通であつて獨り肉に飽かん事を求めて相戦ふ虎狼の如き時を爭ふて相凌亂する鳶鳥の如きも皆獨立自衛の本能を發

露して居る。然るに團結の念に至つては特殊の進歩せる動物のみ之を具へて居るのであつて猿猴が四肢を結着して猿橋を造つて溪流を越へ海狸が協同作業に依つて住居を造る如き、或は彼の蜂や蟻が常習的に團隊生活を爲す等の例の外には下等動物中に其の著しき發露を聞かぬのである。高等動物たる人類にあつても自存自衛の爲めの奮闘は天地開闢以來如何なる幼稚の人類の間にも見るを得た處であるが共存共榮の爲めに提携し團結する事は進歩せる人種の間には先づ現はれ、今に至つて尙團結心の強弱は文化の程度を測るべき尺度なるかの如くに各國民の間に差別的に其の發露を見得る様である。卑近の例は貯蓄と保險の進歩の續を見る事に依つても認め得られる。云ふまでもなく保險は團體的貯蓄であつて貯蓄は個人的保險である、而して不慮の事變に具ふるの手段としては貯蓄は到底保險に勝り得ぬのである。然も尙貯蓄は少しく進歩せる人民の間には勿論或種の劣等動物の間にも行はれて居るに反し保險は獨り大に進歩せる人類の間にはのみ發達するは畢竟文化の進める者のみ團結の偉力を理解し得るが爲めと云はねばならぬ。顧みて吾國の狀況を再考すれば中流以上の事理に暗からぬ人々の間に今尙貯蓄を以て保險に見替へんとする者の甚だ多い事は則ち吾國民の中には團結の何たるを解するまでに文化の進んで居らぬ向が多い事を語る反影の如くにも解せられて遺憾千萬である。

決して感情上のみの問題ではなく同時に勘定上の問題である。團結は勢力の増加と信用の振興を意味するものであつて孤立の場合に比し同一の勞費を以て遙に大なる結果を收め得るに至るものであり利害の點に於て遙に經濟的である。既に百億圓の有形損害を負ひ大抵の戰敗國も經驗せざる逆

境に置かれたる國民としては凡ての方面に冗費を警め銖銖尙捨てずに苦闘惡戦せねばならぬのであるから團結行動が伴ふ經濟的利益は彼等の重要視すべき事柄であり爰にも亦吾人は吾商人の間に團結的精神のモ少し濃厚に現はれん事を熱望して止まぬのである。

嗚呼團結なる哉、人類の歴史は元來爭鬭の歴史とも云ひ得べき程に如何なる時代にも大小様々の爭鬭の絶へた事はないのであるが其間に立つて賢明なる一部の世人は爭鬭より協力に孤立より團結にと注意の焦點を轉じて開悟の遲き儕輩の多數が競爭場裡に累々たる屍となつて横はる間に順調なる進歩を爲し遂げたのである。殆ど時を同ふして中世に起つた南歐と北歐の自由市府が一は爭鬭を續けて前後見苦しき潰滅を遂げ一は鞏固なる團體を組織して連綿今に及んで尙バルチック海邊に獨特の文化を維持して居る。洋の西に洋の東に内亂相踵げる國家が五百年來殆ど舊態を改めず内國の紛爭比較的少かりし離れ島に國を爲す人民が提携して國連の進歩に盡す間に二流三流の小弱國に墮落しつゝある事實もある。四時止む事なき經濟戰にあつて此の事最も顯著であつて機を見て蚤く協同共力に徙れる事業は繁榮し角逐馳騁他を排する事に依つてのみ自己の榮達を庶幾し得べしと妄信した事業は敗亡したのである。東西のトラスト、カルテルの沿革、勞資協調運動の變遷は幾多の活事例を供給して居る。商品分配機關の間に擡頭した相互的地盤侵略戰の如きも傑出せる事業經營家の摩く處に従つて所謂聰明なる協力に依つて着々浪費多き爭鬭狀態を脱却して凡ての關係者を利する團結に改まつて行くのである。

奮闘努力に依つて自家の地位を進める事は商業界にあつても亦各自の權利であり職分であるから

災餘の復興策を運らすに方つても排他的に孤立して飛躍を試みる事は必しも斥くべきではないけれども、此場合にあつても最も効果多き努力は立派に獨立して奮闘し得る人々の協力團結に依つて期し得られるのである。併しながら生産者、卸商、小賣商、消費者の如き元來異階級に屬する者の協力は最も望ましい事であるけれども此事たる恰も異なる民族の同盟にも喩ふべきものであつて傑出した指揮者の組織的頭腦と賢明なる參加者の先見的處決が伴ふ場合の外は成立甚だ困難であり假令一たび成立を見ても是等の要件が失はるゝと共に幾くもなく崩潰する恐のあるものである。之に反し同一階級の商業者が其の共同の利益の爲めに協力し團結する事は同一國民の間に共同一致を謀るものにも譬ふべく實行も容易であり成果を收むる上から見ても甚重要なものがある。斯くする事に依つて其の團結に加はる者は單に競争の惡果から免れ得らるゝのみならず孤立しては或事業に當るべく餘りに小なる商工業者にも尙活動の機會を與ふる事になるのは看過すべからざる利益である。例へば小なる小賣商が團結して共同仕入を目的に團體を設けて有利なる購買を爲すが如き、小仕掛なる製造業者が提携して共同販賣所を立て進歩せる販賣法を講じて其の利を分つが如きは從來世人の屢々説き來つた事で既に相當の成績を擧げつゝ實行せられて居るのである。彼の共同賣出しの如きは一時的の協力ではあるが都邑の商業地區に軒を並べる小賣業者の屢々利用する處であつて比較的廉價に人目を引き購買の念を刺激すべき大仕掛の販賣を行ひ得て、甲商店で買物をする客をして序を以て乙丙等の商店に就ても買取を爲さしむるに至り容易に全體の好成績を誘致するものである。

三

團結協力の精神が吾國の商人殊に其の數が多き爲めに纏まりの惡しき小賣商人の間に缺如するを慨する吾人は、過度の競争に荒び鬩牆の惡果に呻吟して復興事業の眞最中に動もすれば意氣銷沈せんとしつゝある吾商業者に對し一層の協同共力の必要を痛説すると共に此の災餘一年の意義深き目に方つて彼等の爲めに其の容易に爲し得べくして然も未だ大に着手せざる二三の協力の場合を研究して見やうと思ふのである。營業案内の發行、賣渡品の配送並びに取引先の信用調査の如きは是であつて是等は何れの商店に取つても必ず爲されねばならぬ事であると同時に少しく協力的色彩を加ふる事に因つて獨り大々的の經費を節約し得るのみならず著く效果を加ふるを得る事柄で海外の實例は之を證據立てゝ居るのである。

先づ第一に營業案内に就て一言する。營業案内とは假に使用した名稱であつて營業の内容特色等を世間に知らしむる爲めに定期又は不定期に商人が印刷配付する大小各種の印刷物則ち英語のストリーパーバーの意味である。世人は案外鈍感なものであつて如何に頻繁に新聞廣告を出しても如何に人目を牽くべき飾り付をしても依然一部の世人は其の商人の存在を知らずに經過する事があるから、是等の手段を講ずる傍ら時々適當なる印刷物を配付して得意先は勿論未だ取引のない向へも其の店の業務の種類、營業振りの特色等を知らしむる必要があるのである。吾國でも既に多數の店は之を利用し其の編輯の方法、印刷、製本等中々に善く出來上つたものがある。併し海外に見る様な

共同して大仕掛に此の印刷物を發行する事例は寡聞なる吾人の耳に未だ達して居らない。

各商店が其の繁榮を期する手段として單獨の計算に於て獨創的趣向に於てストーリーペーパーを發行するも固より結構であるが適切なる數種の商務に立つ數多の商人が協同して之が發行配付をする事は一層有效で且つ經濟である。孤立して之を發行するに於ては各店の負擔し得る營業費にも制限がある爲め多くは餘り費用の掛るものを造り得ずして粗末な紙に出來合ひの活字を並べた内容の貧弱な二三回繙讀する内に綴り絲が破損して紙がバラバラになり何やら其の店の扱ふ商品亦同程度に於て粗製なるを思はしむる如きものが出來上るのである。併し若し附近三四軒の商人が協力してやる事になれば印刷費、編輯費、發送費等の凡てに互つて大に經濟的になるのみならず、甲及び乙の店で賣る品物に用のない人でも丙の店の品物を買はんとする意思から其の印刷物を保存して居る内には偶然甲商店又は乙商店の顧客になる事もあつて結果は一層有效になる。固より此場合に協力する商店は互に競争する性質のものであつてはならぬ、且つ大抵同一の得意先を相手とする様な品を扱ふて居る事が必要である。協力する店の數は餘りに多くては却て有害であつて三四軒乃至五六軒を適當とする。相距る事近く各自の經營の規模略相匹敵するものであれば眞に上乘である。吾人の知つて居る斯るストーリーペーパーの實例の一は北米イリノイスのジョイレットと云ふ都會にあるカーマンと云ふ襯衣やカラー等所謂ドライグーズを賣る店とラウブと云ふ織物商とマツクと云ふ靴店の協同して發行して居る Economy Store Hints と云ふ月刊の印刷物である。襯衣類、織物、靴とは誠に好い取り合はせであつて其の一を買ふ人は同時に多く他をも買ふ人たるべきである。此出版物

は共同の経費に於て弘くジョ市内外に無料で配付せらるゝのであつて鮮明なる印刷と上品なる意匠は之を受くる者をして自ら捨てがたき思あらしむる上に、尙標題の下に「The Official Organ of Joie's Leading Stores 則ちジョリエットの重要商店の機關雜誌」と云ふ文字が載つて居つて個々の商店の單獨に發行するストアペーパーに比較して一見一種の威力を具へて居る様に見受けられるのである。

少しく問題は違ふが新聞紙其他の方法に依る共同廣告も未だ吾國に大に利用せらるゝに至らぬ様である。爰に云ふ共同廣告とは同一地區に營業する多數の商人が共同して一定の日に或新聞紙の全頁を買取り之を參加各商店に分割して各店思ひの廣告をするのであつて第一に數量割引があるから各自廉價に弘き紙面を使用する事が出来るのであるが、通常前に申合せが出来て居つて其の廣告の掲載せられた日若くは其後一二日に亙つて參加各商店は何れも廉賣又は商品券の贈呈をやる事になつて居るので格安物を漁らんとする世人の注意を惹く力も甚大なるものがある。人も知る如く米國では大規模の通信販賣店が到る處の村落に手を伸べて居つて地方小都邑の小賣商の如きは動もすれば其の存在を危くせらるゝ事實があるので、共同廣告は是等小商人が大都市の通信販賣業者に對抗すべく講ずる處の手段であるが吾國にあつても傑出せる大デパートメントストアの設立されたる場合に其處在地の各方面に在る消費者は其の附近に多數の誠實なる商人が在る事を忘れて彼のデパートメントストアをのみ相手とする傾向のある折柄であるから。大都市の一角の或地區に營業所を構へる數多の店が聯合して此方法を取る事は決して無意義でないと思はれるのである。

四

賣渡品の共同配送も必ず有効に行はれ得べきである。此問題に就ては吾人は曾て卑見を雜誌商業世界第五卷の五月號に載せた事があるので爰に多言を陳ぬる事を避くるのであるが、小賣商店として顧客の需に應じて其の賣渡品を配達する事は客扱ひの上から見て辭するを得ざる勞費であると同時に各買人が單獨に人夫を傭ひ車馬を賃して自家に持ち去る場合に比して國家經濟上亦遙に有利である。各小賣店が賣揚代金の一部を充用して配送機關を維持し客の命ずる儘に同一方向行の荷物を一纏めとして配達する事は是れ則ち其店に就て買ふ人が費用を分擔して設けたる共同配布機關とも見る事が出来る。而して繰返へし云ふ如く單獨行爲は共同行爲に比して常に不經濟である。過般來遞信省では災餘設備の整はなかつた爲めに切取線のなき糊の着いて居らぬ郵便切手を賣て居つた。

此の舉が郵政の當局に取り幾何の節約を招致したかは吾人の知らぬ處であるが彼の不便なる切手を渡された一般世人が通信の都度缺を使用し糊を塗つて切手を貼付せる事の爲めに徒費した勞力と時間が如何に多大であつたかを考へ來れば帝國全體から觀察して節し得たものは失へるものゝ何百分の一にも及ばなかつた事であらう。返へすゝも馬鹿ゝゝしき兒戲を演じたものである。夫れ程に共同行爲が經濟的である以上宜しく一步を進めて各商店が單獨に賣渡品の配送を爲す事の代りに附近多數の配達を要する性質の商品を商ふ小賣商の共同に依つて大なる配送機關を設くる事の有利なる所以も容易に肯定せらるべきである。或店の經營者は獨力を以て數多の配達車を維持し金文字鮮

かに店印を現はした是等の配達車を往來せしむる事に依つて得らるゝ廣告的價值を捨てがたと考ふるものもあらう。共同の機關を通じて配送するよりも専用の配達機關を使役する事が顧客に對して一層の敬意を表する所以であると考へる向もあらう。其他觀察者を異にするに従ふて種々の利益の單獨配送に期待すべきものがあるであらう。然しながら何人の見る處に依るも變る事なき一の眞理は共同配達に依つて成就せらるべき經費の著しき節約である。吾人は前記の雜誌に於て其の現に行はれつゝある幾多の實例を挙げ經費節約の必ず爲さるべき所以を力説したのである。

賣込先の信用の調査は吾國の小賣商人に依つて甚しく苟且に附せられて居る様である。吾人をして忌憚なく吾國の小賣商人を評せしむるならば彼等は餘りに金錢を愛重すると共に餘りに商品を粗末にする者と云ひたい。彼等は得意先を殖す事にのみ急であつて果して其の賣込みを爲す處の相手方が支拂の能力と意思とを有するや否やを顧みるに暇なき様である。吾人の寡聞なる通常の小賣商店が其の賣揚代金の幾何パーセントを貸倒れとして失ふかを知つて居らぬが必ずや少からぬ割合に達する事と信せられる。彼等の方で云へば若干パーセントの貸倒れは止むを得ぬものとして代金の中に見込んであるから豫想の率を超過せぬ限り敢て驚かぬと云ふ譯でもあらうけれども正直に高き價を支拂ふ者の迷惑は勿論の事、抑も又一方に於て自己の取引先選定の杜撰に本づき生じた損害を罪もなき他の顧客に轉嫁する如き正義の允さざる取引をやる商人の長く繁昌する筈はないのである。然も競争の過激なる時代にあつて一切の取引を現金拂にするが如きは到底不可能の事であるから要訣は相當の方法を講じて斷へず得意先の資力の消長と支拂振りの善惡とを注意し續けて安全の

限度内に於て貸賣を許す外はないのである。

然らば取引先の様子を正確に調査する方法は如何と云ふ問題になる。是には最善の方法は進歩せる興信機關の利用と云ふ事になるのであるが現下吾國には随分危険なる興信所もあるので下手な興信所に就て正確なる内様を得んとするが如きは到底不可能である。名聲隆々たる立派な興信所もあるけれども小なる小賣商として之に會員となるには二つの不利があつて、實益の程を疑はねばならぬ、第一は會費の高い事であつて左程大なる支出を忍ばずとも他に一層適切な工夫の講じ得るものがある、第二は是等興信所の調査は廣く全國各地の中流以上の實業家に互つて甚だ細密であるけれども吾人の爰に研究の對象として居る一般小賣商人の得意先たるべき中流若くは其の以下の官吏、會社員、技術家、學者等の階級に就ては調査は届いて居らぬのである。従て興信所に加盟する事は小なる小賣店に取つては其の利益は寧ろ形式上であつて現實的でないと言ふ恨がある。

然らば至大の面倒と忍びがたき失費を堪へる事として各商人が獨立して調査をやつたらば如何と云ふに特に大規模の事業でない限り効果を擧ぐる事は先づ絶望である。第一に複雑なる調査を限ある個々の商店の堪ゆる營業費の一部の充當に依つて企つる事が既に無謀であるのみならず第二に或人の信用に關して公平なる判斷をする事の爲めには彼が自己に對して從來爲し來つた取引振りをのみ注視すべきものでなく弘く世間幾多の關係者に對し如何なる程度まで諾約に忠なりやをも考へねばならぬのであつて到底一商人の餘力のみを以てして爲し得べき事業ではないのである。

茲に於て此の問題を解決すべく思ひ付かれた最善の方法は小賣業者の協力になる處の共同信用調

查機關であつて Credit Bureau, Credit Exchange, Credit Association 等の名稱の下に海外の重要地に設置されて居る。其の規模は大小甚だ區々であつて一都市の一部に營業する百に足らぬ商人の設けて居るものもあり全都市又は全州に亙つて信用調査をして居るものもある。

五

事業の大小に依つて多少の相違は固より存すべきであるが共同信用調査機關の要領は若干の同志同憂の商人が堅き申合せを造り一定の時期を問して規則正しく其の貸賣りをする得意先の支拂振りに就て正確なる報告を事務所に送致し事務所では之を整理保存して置いて其の團體に屬する商人から照會のある毎に衆目の覩たる結果を内報して彼の參考に供するのである。最も簡單な場合を想像して云へば或町内に營業して居る二三十の小賣商が此の團體を組織するとし毎月輪番に事務に當る事と毎月二回五日と二十日に必ず其貸賣先の狀態を必ず當番會員に通ずる事を申合はせる。尙報告の統一を期する爲めに信用し得べき程度に依り四種の符號を使用する事とする。例へば支拂の毫も滞なきものを甲とし多少の延滞は生ずる事あるも尙且つ支拂ふものを乙とし支拂に方つて故障を附し動もすれば支拂を免れんとする者を丙、支拂上重大なる不始末のあつた者を丁として報告する事にする。當番會員は各會員が其の定期報告を後らしめぬ事を監視すると共に各方面から集まり来る報告書の内容をイロハ別にしてある消費者臺帳に記入して行き、照會ある毎に最近の事實に本づき總報告數幾件、内甲若干乙若干と返課する事に依つて大體の狀況を報告するのであつて、殆ど經費を要せず比較的過なき近狀を同好の人々に通知する事が出來得るのである。

北米ネブラスカ州のヲマハには大なる小賣商組合があつて小賣業者の爲めに種々畫策して居るのであるが其の分身として Associated Retail Credit Bureau and Creditmen と云ふ信用調査機關があつて十六人の事務員を使役して二十五萬七千人の消費者の名を登録した臺帳を整理して居る。此組合の事業も要領に於て前記の例に一致するものであるが注意すべき特色とも云ふべきは第一組合員の報告事項を漠然たる支拂の良否なる一項目に留めず支拂時期なる項目の下に(一)一ヶ月乃至二ヶ月内に支拂ふもの、(二)二ヶ月乃至三ヶ月内に支拂ふもの、(三)三ヶ月を経るも支拂はざるもの等の階級に分ち、取引の持續期間なる項目下には(一)開始以來一年を経過せざるもの、(二)一年以上三年未滿のもの、(三)三年以上に亙れるもの、三級を設け、顧客の性癖に就ても(一)支拂に方り不道理なる要求を爲すもの、(二)屢々買取品の引換を求めて手數多きもの等に分ち、大體觀察として優良可否等の級別を造り十數の符號を使用して具體的事實を蒐めて居る事と、第二に新に其の市内に移り來る消費者のある毎に組合は彼に書面を發して組合員の參考の爲めに左の諸件の回答を乞ふと認めた書面を送つて氏名、住所、以前の住所、職業、勤め先、勤続年限、以前の勤め先、年齢、結婚關係、所有不動産の種類及び價額月收額、取引銀行の名及び預金の種類、現存未拂買取品金額、曾て延拂にて日用品を買取りたる商人の氏名住所、信用照會先等の告知を求めて居る。第三には組合員から依頼のある場合には滞り掛代金の代理取立事務をも引受けて居る。

而して是等共同調査の齎すべき重要な利益として傳へられる處のものは甚だ多方面に亙るのであつて概要左の如きものがある。

一、警戒を要する取引先の状況が引く迅速に報せらるゝ結果貸倒れ減少す

二、小賣商一致して不確實なる向に對して信用を與へざる結果横着なる消費者は閉熄し世人の支拂道德が向上する

三、轉居先の不明となつた債務ある消費者の發見も容易となる

四、時に滞貸を生ずるに至つても組合の威力は商人に損失を蒙るに至らしめぬ結果爭訟の煩なく商人の負擔を減ずる

五、是等の利益が小なる經費に依つて獲られる事は愈各商人に協同團結の有利なるを悟らしめて他の方面に於ける共力運動を熾にする

六

以上の記事を以て吾人は復興の大任を負へる小賣商人に對して希望する協同行爲の數例を概説し盡した。是等及び是等より類推し得べき數多の行動は團結力に富む商人の協力に因り必ず有利に爲し遂げ得らるべきものであつて同志の商人の少き事は決して差支へとならぬのであるが只何よりも緊要なる一要件は鞏固なる團結心である。既に團體の事業の有益なる事を認めた以上其の團體の利益の爲めには自己一身の便益を譲り團體の定めた規定には忠實に服従するの雅量を以て終始せねばならぬ。災餘一年單獨的復興事業は隨處に盛であるに對し共同的努力が尙甚しく缺けつゝあるは勘定の上から見て大なる不利益であると共に感情上から見て忍ぶべからざる恨事である。